

四〇〇一番

立山たちやまに 降り置おける雪ゆきを 常夏とこなつに 見れども飽あかず  
神かむからならし

四〇〇二番

片貝かたかひの 川かはの瀬清せきよく 行く水みづの 絶たゆることなく  
あり通がよひ見みむ